

平成 23 年度当初予算案

平成 23 年 2 月 4 日

1 予算編成の基本方針

「新たな基本構想」と「新たな行財政改革の方針」に沿って取り組む初年度の予算として、滋賀の未来戦略の考え方を踏まえ、先駆的・戦略的な施策に重点的に取り組むことにより、「住み心地日本一の滋賀」の実現を目指す。

2 予算の規模

一般会計	4,984 億円	(対前年度当初比 38 億円増 +0.8%)
特別会計	1,777 億円	(対前年度当初比 65 億円減 3.5%)
企業会計	305 億円	(対前年度当初比 22 億円減 6.8%)

企業会計は収益的支出および資本的支出の合計を示しています。

3 予算のポイント

(1) 8つの重点テーマの設定による戦略的な施策構築、部局間連携の徹底

滋賀県基本構想「未来を拓く8つの扉」

滋賀の未来戦略プロジェクト

(重点テーマ1)	子育て・子育て応援	9.6 億円
(重点テーマ2)	働く場への橋架け	26.2 億円
(重点テーマ3)	地域を支える医療福祉・在宅看取り	15.5 億円
(重点テーマ4)	低炭素社会実現	1.8 億円
(重点テーマ5)	琵琶湖の再生	8.0 億円
(重点テーマ6)	滋賀の未来成長産業	4.3 億円
(重点テーマ7)	地域の魅力まるごと産業化	4.3 億円
(重点テーマ8)	みんなで命と暮らしを守る安全・安心	28.0 億円

戦略的な
施策構築

部局間
連携の
徹底

合 計
97.7 億円

(2) 財政の健全化の推進

平成 23 年度の財源不足額への対応

滋賀県行財政改革方針（原案）[平成 22 年 10 月公表]における収支改善目標

歳入による対応
(歳出で対応できない分)
+130 億円

財源対策のための
県債 45 億円

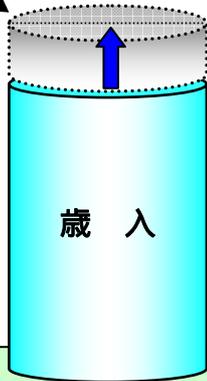
歳入の確保
85 億円

財源不足額
190 億円

歳出による対応
60 億円

事業見直し
25 億円

人件費対応
35 億円



平成 23 年度当初予算編成における対応

歳入による対応
(歳出で対応できない分)
+151 億円

財源対策のための
県債 44 億円

財源調整的な基金の
取り崩し 85 億円

市町振興資金特別
会計からの繰入 13 億円

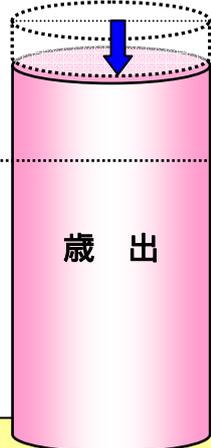
土地の売却
9 億円

財源不足額
209 億円

歳出による対応
58 億円

事業見直し
23 億円

人件費対応
35 億円



財源不足額 190 億円 209 億円

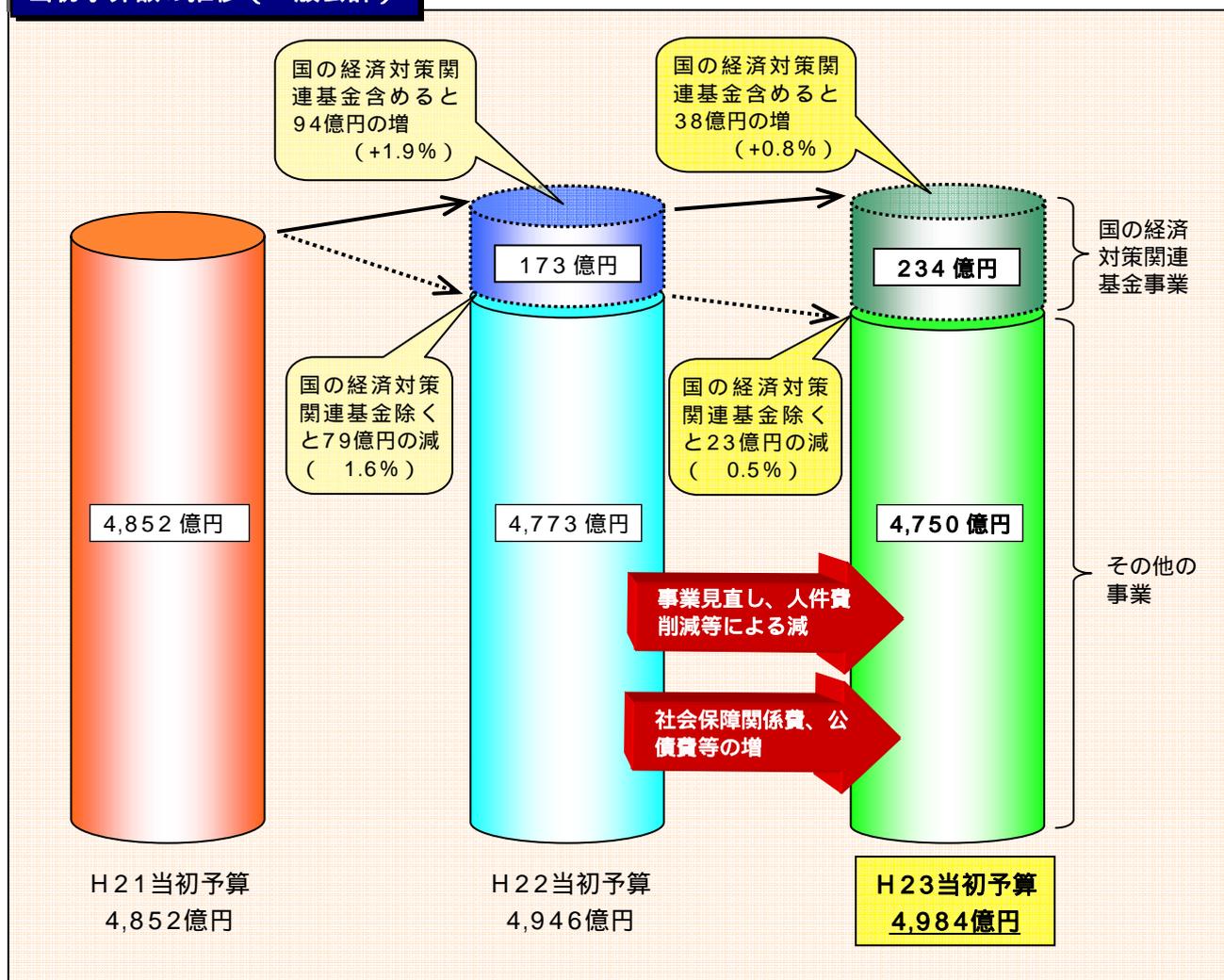
今年度の県税の状況や平成 23 年度の国の地方財政対策の決定を受けて、収支財源不足額は当初の見込みより 19 億円拡大

- 県税 1,220 億円 1,286 億円 (+66 億円)
- 地方交付税 + 臨時財政対策債 1,700 億円 1,615 億円 (-85 億円)

(3) 国の経済対策等への着実な対応

国の経済対策関連の基金を活用し、引き続き、子育てや介護、雇用や経済対策等に対応した結果、予算規模としては平成22年度に続き、2年連続の増加
(ただし、国の経済対策関連基金事業を除くと、実質的なマイナス予算)

当初予算額の推移（一般会計）



平成23年度予算における主な国経済対策関連基金の状況（取り崩し額）

- 緊急雇用創出事業臨時特例基金 約60億円
- ふるさと雇用再生特別基金 約24億円
- 地域活性化・公共投資基金 約34億円
- 介護職員処遇改善等臨時特例基金 約21億円
- 医療施設耐震化臨時特例基金 約15億円
- 障害者自立支援対策臨時特例基金 約15億円
- 子育て支援対策臨時特例基金 約14億円
- 介護基盤緊急整備等臨時特例基金 約14億円
- 地域医療再生臨時特例基金 約12億円
- 子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例基金 約11億円 等